## 「真理の霊と惑わしの霊」　2025 年 12 月 13 日

愛する人たち、どの霊も信じるのではなく、神から出た霊かどうかを確かめなさい。偽預言者が大勢世に出て行ったからです。イエス・キリストが肉となって来られたことを告白する霊は、すべて神から出たものです。あなたがたは、こうして神の霊を知るのです。イエスを告白しない霊はすべて、神から出ていません。これは、反キリストの霊です。あなたがたはその霊が来ると聞いていましたが、今やすでに世に来ています。子たちよ、あなたがたは神から出た者であり、彼らに勝ちました。あなたがたの内におられる方は、世にいる者より大いなる者だからです。彼らは世から出た者です。そのため、世のことを語り、世も彼らに耳を傾けます。しかし、私たちは神から出た者です。神を知る人は、私たちに耳を傾けますが、神から出ていない人は、私たちに耳を傾けません。これによって、真理の霊と惑わしの霊を見分けることができます。（Ｉヨハネ 4：1～6）

著者は、「ヨハネ教団」に集う人々は主イエスを信じ、互いに愛し合いなさいという戒めを守っているので、神の内にあり、永遠の命に与っていることを喜び、その信仰を称えた。しかし、周りには偽預言者、反キリストが大勢出てきている。それらに誘われ、陥らないように心配し、「愛する人たち、どの霊も信じるのではなく、神から出た霊かどうかを確かめなさい。偽預言者が大勢世に出て行ったからです」と、色々な霊があるが、神から出た霊であるかどうかを確かめなさいと忠告している。そして、「イエス・キリストが肉となって来られたことを告白する霊は、すべて神から出たものです」と、肉の主イエスを告白する霊が神から出た真理の霊であると言う。当時、主イエスは肉の姿を取らず、霊において神から遣わされたという抽象的なイエス像を説くグノーシス派の教えが広まっていた。主イエスが肉となって来られたことを否定する霊は、神から出たものではなく、反キリストの霊である。反キリストの霊がやって来ると聞いていたが、今や既に来ている。あなたがたは、神の霊と反キリストの霊との違いに注視しなければならないと説く。

著者は、「子たちよ」と呼びかけ、「あなたがたは神から出た者であり、彼らに勝ちました。あなたがたの内におられる方は、世にいる者より大いなる者だからです」と言う。全てに勝利された主イエスがあなたがたの内におられて、あなたがたは神から出た者とされているので、偽預言者、反キリストに打ち勝っている。彼らは世から出た者であり、肉を持って生きた主イエスのことを告白せず、世のことを語り、世のことにしか関心がない。自分たちの栄誉と利益と勢力を求めているからである。彼らの語ることに耳を傾け、彼らに聞き入る世は、主イエスにおいて神が現わされたにもかかわらず、その神を見ようとせず、信じない。世から出て、世にのみ関心を寄せる者たちは、私たちの宣教に耳を貸さない。しかし、肉となって来られた主イエスを通して神を信じる者が神から出た者であり、私たちの宣教に聞き入る。この分岐点で、人を救う真理の霊と人を惑わす霊とを見分けることができると言う。

ヨハネ文書は、この世は神を信じない「罪の世」であると認識しているが、神は、その罪の世を愛し、救おうとして、肉を持った主イエスを世に遣わされたと神の子の受肉を力説する。主イエスはご自分を十字架に献げ、血を流して罪を贖い、私たちを神に属する者としてくださった。著者は、信仰を抽象的に捉え、自己満足するグノーシス派の教えを否定し、肉の主イエスの愛をいただいた者として、具体的な愛を生きよと勧めている。